

様式第 5 号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習等の時期 教育実習 2（中学）もしくは教育実習 2（高校） 9 月～11 月 （実習校）
②	教育実習等の実習期間・総時間数 教育実習 2（中学）もしくは教育実習 2（高校） ・中学校 3 週間（120 時間）、高等学校 2 週間（60 時間）
③	実習校の確保の方法 原則、受入れ承諾を得ている高等学校（6 校）と教育委員会（4 カ所）が所管する中学校もしくは本学と同じ学校法人の大東文化大学第一高等学校を対象とし、大学を通して内諾を依頼する。以上で対応できない場合には出身校に依頼することがある。
④	実習内容 「教育実習 1」（事前指導）、「教育実習 2」「事後指導」からなる一貫した指導のもと構成され、学生が大学で学んだことをもとに、学校教育の現場で一人一人の生徒の育成に直接関わることを通して、教育活動全般を体験し、教育の意味と内容を学ぶことをねらいとしている。 専門職としての資質や能力を身に付けるために、次のような内容で実施される。 （1）学校の教育方針や学校組織、運営の理解 （2）生徒、生徒の学校生活についての把握と理解 （3）学習指導および生徒指導の研究と実践 （4）学級経営への参加 （5）特別活動（ホームルーム、クラブ活動、学校行事など）の参加と指導 実習校には、10 時間以上の教壇実習や学級担任業務、生活指導、クラブ活動、中学の場合には道德の授業も含め、できるだけ多くの経験をさせていただけるよう依頼する。
⑤	実習生に対する指導の方法 <入学次> 教育実習準備説明会を行い、教育実習の意思確認、実習の意義や心構え、実習の受講資格、実習校受入依頼、実習校訪問の諸注意などの指導を行う。 <前 期> 「教育実習 1」履修 教職経験のある本学教員あるいは外部講師が指導を担当する。 <実習直前> 担当教員が、教育実習の心構えと準備、注意事項等について改めて指導する。 <実習中> 指導教員が実習校を訪問し、実習校の担当教諭と相談しながら実習生の指導を行う。 ※教育実習中の問題や事故、相談事は、必ず教職課程センターへ連絡のうえ迅速に対応するシステムをとっている。 <実習終了後> 指導教員が、教育実習日誌および「教育実習・事後報告書」にもとづいて、丁寧に指導する。

⑥ 実習の成績評価（評価の基準及び方法）

※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。

実習校による評価を基本として、次の事項を含め教育実習成果の達成度を総合的に判断する。（教育実習生評価表参照）

- ・実習校での出勤状況と実習日誌記入内容、学習指導案
- ・事前指導のレポート等の評価
- ・事後指導

2 事前及び事後の指導の内容等

① 時期及び時間数

（１）事前指導「教育実習１」

- ・現職教員、教職経験者指導（特に教育実習指導経験者）： 45分×15回（教育方法やICT利用法などについての事前指導を含む）
- ・担当教員による少人数での直前指導： 45分

（２）事後指導

- ・教育実習終了後１週間以内 約２時間

② 内容（具体的な指導項目）

（１）「教育実習１」

- a) 学習指導要領の意味、教員の働き方に関する事項
- b) 教育実習生の一日、授業観察法、業務観察法、記録方法
- c) 実践的な指導に関する事項（授業計画の建て方、授業の進め方、学習指導案の作成方法）
- d) 模擬授業(動画で提出、リモート授業の方法も兼ねる)
- e) 生徒との関わり方および生活指導法、学級運営、課外活動指導、その他教員としての日常業務、インターネット・SNSに関するマナーほか)
- f) 思春期の子どもたちと向かい合う、貧困や暴力、差別の問題と向かい合う
- g) 教育実習生には見えない教員の仕事（保護者地域住民対応、地域社会連携、入試選抜、受験指導を含む進路指導、調査書（通称内申書）・学習指導要録 など）
- h) **直前指導**:教育実習中の心構え、性犯罪を起こさないために

（２）「事後指導」

学生は実習校での現場体験を振り返り「事後報告書」を作成する。個別の指導教員が事後報告書と実習校訪問時の様子等に基づき、良かった点や問題点、今後の教員としての課題を見つけ出し、教育現場に立つ際に求められる資質や力量などについて、指導・助言を行っている。

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

・ 委員会等の名称

①教職課程センター管理委員会

②全学教職課程委員会

・ 委員会等の構成員（役職・人数など）

（1）教職課程センター管理委員会

・ 所長

・ 専任教員 若干名

・ 兼任教員 若干名

・ 中高教職の各教科を担当する専任教員又は特任教員 各1名以上

・ 幼小教職課程又は保育課程を担当する専任教員又は特任教員 1名以上

・ 博物館学講座委員会から推薦された専任教員又は特任教員 1名以上

・ 社会教育課程又は図書館学課程を担当する専任教員又は特任教員 1名以上

・ 所長が推薦する者 若干名

（2）全学教職課程委員会

・ 所長

・ 本学の学科の専任教員又は特任教員の中から推薦された者 各1名

・ 委員会等の運営方法

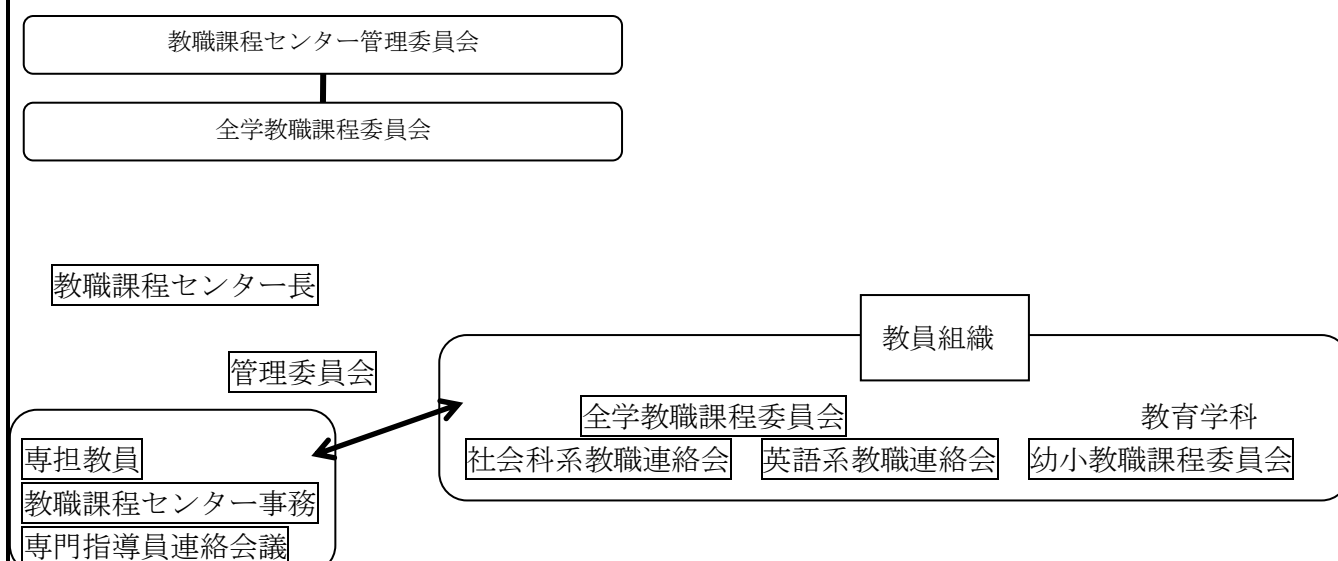
（1）教職課程センター管理委員会

委員長（教職課程センター所長）が招集し、月に1回開催する。

（2）全学教職課程委員会

委員長（教職課程センター所長）が招集し、半期に1回のほか必要に応じて開催する。

【委員会の組織図】



② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

- ・ 委員会等の名称
教職課程センター管理委員会
- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）
①に同じ
- ・ 委員会等の運営方法
①に同じ

【委員会の組織図】

①に同じ

4 教育実習の受講資格

教育実習の受講については、次のことを要件としている。

- (1) 教育職に従事するという明確な将来計画を持っている者
- (2) 教員採用試験を受験する者
- (3) 当該年度に健康診断を受診した者
- (4) 国・公・私立学校の正常な教育活動を妨げる恐れのない者
- (5) 教育実習校の教育方針に従い、その指導監督のもとに誠実かつ意欲的に実習する者
- (6) 前期終了時において次の科目の単位を修得済みであること

(中学校・高等学校共通)

- | | | |
|-----------|------|------|
| ① 教育学概論 | 2 単位 | 必修科目 |
| ② 教師論 | 1 単位 | 必修科目 |
| ③ 教育心理学概論 | 2 単位 | 必修科目 |
| ④ 教育課程論 | 1 単位 | 必修科目 |
| ⑤ 教育実習 1 | 1 単位 | 必修科目 |

(中一種免 (国語))

教科教育法 (国語) 1A,2A 各 2 単位 必修科目

(高一種免 (国語))

教科教育法 (国語) 1A 2 単位 必修科目

(中一種免 (理科))

教科教育法 (理科) A,B 各 2 単位 必修科目

(中高一種免 (保健体育))

教科教育法 (保健) I 2 単位 必修科目

教科教育法 (体育) I 2 単位 必修科目

(中高一種免 (英語))

教科教育法 (英語) 基礎 A,応用 A 各 2 単位 必修科目

5 実習校				
教育 実習	体験 活動	学級数の合計	高等学校 293 学級	
○	×	学校名	西武台高等学校（埼玉県新座市中野 2 丁目 9-1） 学級数：41 生徒数：1290 人	
		教員数	125 人 （内訳）教諭 91 人、講師 32 人、養護教諭 2 人	
○	×	学校名	星野高等学校（埼玉県川越市末広町 3-9-1） 学級数：63 生徒数：2173 人	
		教員数	122 人 （内訳）教諭 84 人、講師 35 人、養護教諭 3 人	
○	×	学校名	大東文化大学第一高等学校（東京都板橋区高島平 1-9-1） 学級数：27 生徒数：994 人	
		教員数	87 人 （内訳）教諭 47 人、講師 38 人、養護教諭 1 人、実習助手 1 人	
○	×	学校名	埼玉栄高等学校（埼玉県さいたま市西区西大宮 3-11-1） 学級数：70 生徒数：2579 人	
		教員数	162 人 （内訳）教諭 134 人、講師 25 人、養護教諭 3 人	
○	×	学校名	栄東高等学校（埼玉県さいたま市見沼区砂町 2-77） 学級数：38 生徒数：1348 人	
		教員数	118 人 （内訳）教諭 96 人、講師 21 人、養護教諭 1 人	
○	×	学校名	昌平高等学校（埼玉県北葛飾郡杉戸町下野 851） 学級数：54 生徒数：1913 人	
		教員数	158 人 （内訳）教諭 80 人、講師 75 人、養護教諭 3 人	
○	×	教育委員会名	蕨市教育委員会	中学校：3 校
○	×	教育委員会名	東松山市教育委員会	中学校：5 校
○	×	教育委員会名	和光市教育委員会	中学校：3 校
○	×	教育委員会名	川口市教育委員会	中学校：27 校 高等学校：1 校

教育実習生評価表

大東文化大学

ふりがな		性別	所属	学部		学科
氏 名		男 女		学籍番号		
実 習 教 科				担 当 学 年		
担当ホームルーム	年 組			参 加 ク ラ ブ		
実 習 期 間	月 日 ～ 月 日			授業参観時間数	時間	
欠 勤 日 数	日 (事由)			教壇実習時間数	時間	
実 習 評 価	項 目	所 見				評 価
	教 材 研 究					S・A・B・C・D
	授 業 の 展 開					S・A・B・C・D
	生 徒 指 導					S・A・B・C・D
	学級経営・事務					S・A・B・C・D
	実 習 態 度 (熱意・責任感など)					S・A・B・C・D
総 合 所 見						総合評価
						S・A・B・C・D
教 科 指 導 教 諭			⑩	ホームルーム 指 導 教 諭	⑩	
実習校所在地 年 月 日 校 名 _____ 校 長 _____ 公印						

備考① 成績評価は、S (90 点以上) , A (80 点以上), B (79～70), C (69～60),
D=不合格 (59 点以下)

② 「教育実習生評価表」は、「教育実習生出勤簿」「教育実習日誌」と共に実習終了後
1 ヶ月以内に大東文化大学教職課程センター事務室宛に直接お送りください。

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 国語、理科、保健体育、英語

令和 4 年 1 月 7 日

西武台高等学校

学校長 深澤 一博

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 国語、理科、保健体育、英語

令和 4 年 1 月 7 日

星野高等学校

学校長 星野 誠

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 国語、理科、保健体育、英語

令和 4 年 3 月 7 日

大東文化大学第一高等学校

学校長 川嶋 直司

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 国語、理科、保健体育、英語

令和 3 年 12 月 23 日

埼玉栄高等学校

学校長 町田 弦

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 国語、理科、保健体育、英語

令和 4 年 1 月 12 日

栄東高等学校

学校長 田中 淳子

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 国語、理科、保健体育、英語

令和 4 年 1 月 17 日

昌平高等学校

学校長 城川 雅士

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 国語、理科、保健体育、英語

令和 3 年 12 月 22 日

蕨市教育委員会

教育長 松本 隆男

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 理科

令和 4 年 1 月 25 日

東松山市教育委員会

教育長 吉澤 勲

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 保健体育

令和 4 年 1 月 25 日

東松山市教育委員会

教育長 吉澤 勲

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 国語

令和 4 年 1 月 25 日

東松山市教育委員会

教育長 吉澤 勲

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 英語

令和 4 年 1 月 25 日

東松山市教育委員会

教育長 吉澤 勲

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科 : 国語、理科、保健体育、英語

令和 4 年 1 月 5 日

和光市教育委員会

教育長 大久保 昭男

大東文化大学

学長 内藤 二郎 殿

教育実習生受入れ承諾書

大東文化大学生の教育実習委託を承諾します。

記

1. 実習教科　：　国語、理科、保健体育、英語

令和　3年　12月　23日

川口市教育委員会

教育長　茂呂　修平

大東文化大学

学長　　内藤　二郎　殿